



特集

【小児生活習慣病】

子どもの生活習慣の乱れを
大人がキャッチしましょう…………… 2

栄養バランスのとれた
食生活の習慣づけを…………… 3

地域ぐるみで子どもの
健康を守る運動を…………… 4

【専門医のアドバイス】
東京女子医科大学
八千代医療センター小児科 佐々木 香織…………… 5

● ミレニウム・インタビュー…………… 6

「健康づくり・医療・福祉の連動」をめざして

千葉県健康福祉部長 小川 雅司

● CHIBAで発見! 健康増進ご当地めぐり
香取市 市民グループ「ウエストサイズ物語」…………… 13
水郷さわらの健康食…………… 14
ウォーキングの先駆者・伊能忠敬…………… 15

● 地区医師会へようこそ…………… 15
香取都市医師会

● 「かかりつけ医」と私…………… 16
千葉銀行頭取 竹山 正

● 健康情報コーナー
【家庭の健康アドバイス】
メタボリックシンドローム…………… 18
インフルエンザ…………… 18
[健康歳時記] 目の愛護デー／皮膚の日…………… 19
医療トピックス…………… 19

● Information
県からのお知らせ…………… 20
講演会・公開講座…………… 20
ブックレビュー…………… 20
[評] 藤森 宗徳 千葉県医師会会長
こども急病電話相談…………… 21
NHK-FM ラジオ「健康メモ」放送予定…………… 21
健康イベント…………… 21

© 社団法人 千葉県医師会 (本誌掲載の記事は無断転載を禁じます)

巻頭言

医師確保問題に思う

地域での医療崩壊が徐々に進んでいます。政治家の方もようやく重い腰を上げ始めたようで、医師確保問題が様々なところで取りざたされています。政府は、これまでガンとして受け付けなかった医学部定員増を認めざるを得なくなっていますが、定員を増やしても今の医師不足の解決にはすぐには繋がらず、効果が出てくるのは10年先という話になるでしょう。

即効性のある対策として、都道府県はそれぞれ奨学金などを乱発して出身医学生やすでに研修医になった医師に誘いをかけていて、まるでパイの取り合いといった状況が生まれています。しかし、それによって十分に効果が上がったという話はあまり耳にしません。医学生や研修医にとつての大きな関心事は、研修で技術がきちんと習得できること、そしてそれを十分に発揮できる環境があることで、自分達の将来を奨学金で縛られることを嫌う人が多いのです。

その結果、今後ますます医学生や研修医が都市部に集中してくることは明らかであり、医師の偏在に歯止めがきかないといった傾向は強まるばかりです。以前は、若手医師の派遣については大学医局が実権を握っていましたが、今やその機能は崩壊しつつあります。そうなる、若い医師に対して、良い研修システムを持っているとか、勤務する病院を一定の期間で変えることができる、研究分野への道もあるなど、将来の選択肢を多岐に提案できるところに、人が集まってくるのは当然です。

奨学金ではなく、医学生や研修医に魅力を感じさせる研修システム、環境づくりこそが医師確保の本道であり、ひいては医療のレベルの向上に繋がると考えます。

千葉県医師会理事 石川 広己